

本校が目指す5年後の姿（具体的な目標）

I 学校の現状と課題

本校は、地域の生徒数減少による入学者数の減少が続き、2学級を維持することが難しくなっている。そのため平成30年度入学生の募集は1学級40人となり、また第七次秋田県高等学校総合整備計画に基づき、平成32年4月に湯沢翔北高校の地域校となる予定である。このような現状ではあるが、素直で落ち着きのある生徒が多く、学習指導では少人数指導の実践により非常に高い効果を上げている。各場面で積極的に熱く燃えるような意欲をもって活躍しようとする生徒を育てるために、一人一人が活躍できる場を学校全体で設定しながら、社会性やコミュニケーション能力の育成に取り組んでいる。今後さらに、多様な能力を発揮できる数多くの場をいかに設定するかが課題である。

II 学校を取り巻く将来の状況の予測

湯沢・雄勝地区の中学校卒業生数は、平成27年度からの10年間で大幅に減少し、全体として約5学級分が減少する見通しである。こうしたことから、本校は湯沢翔北高校の地域校として、各学年1学級体制になる。それを踏まえて「地域に根ざした特色ある学校づくり」をテーマに、様々な取組を始めている。具体的には、地域連携を軸とした将来構想を推進していくために、地域連携コーディネーターを中心に地元の祭りや行事に生徒が自主的に参加し、地域に密着した取組を展開しており、地元からの期待も年々大きくなってきている。また、少人数であるからこそできるきめ細やかな指導のさらなる充実についても、地域の期待が大きいものと推察される。

春： 桜堤防整備事業枝拾い、おしら様桜祭り、小町まつり等のボランティア

夏： 川遊び体験、雄勝大花火大会、横堀仮装盆踊り、近隣福祉施設夏祭り等のボランティア

秋： 全国まるごとうどんEXPOボランティア

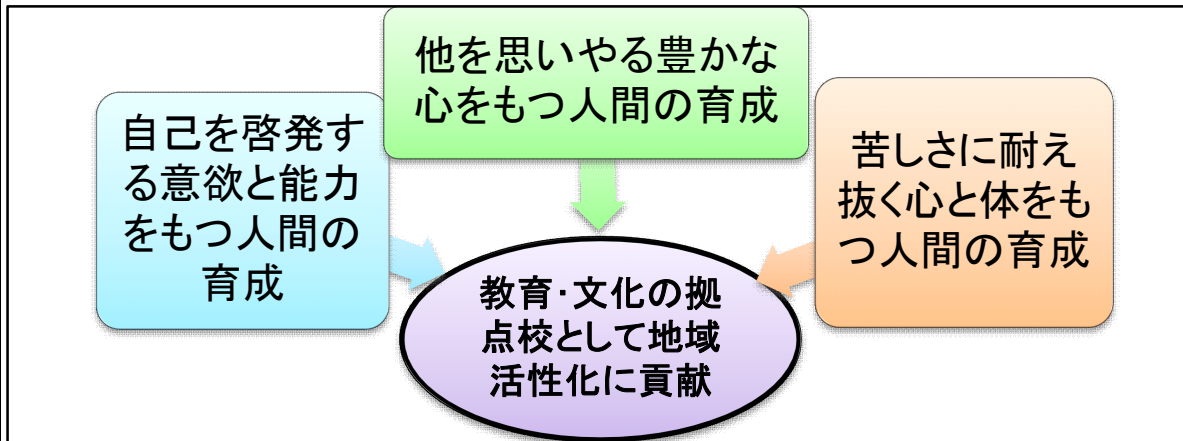
冬： 雄勝の雪祭り雪像制作、かだる雪祭りミニかまくら作り

地域連携により

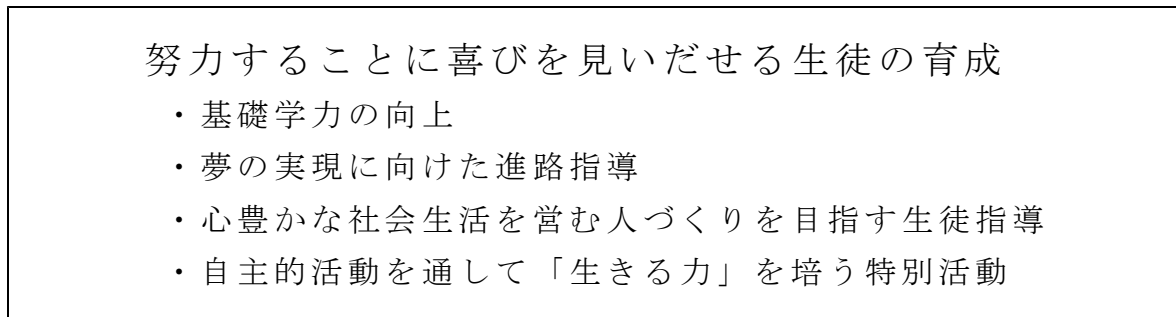
「自信」「郷土愛」「コミュニケーション能力」

Ⅲ 目指す方向

1 教育方針



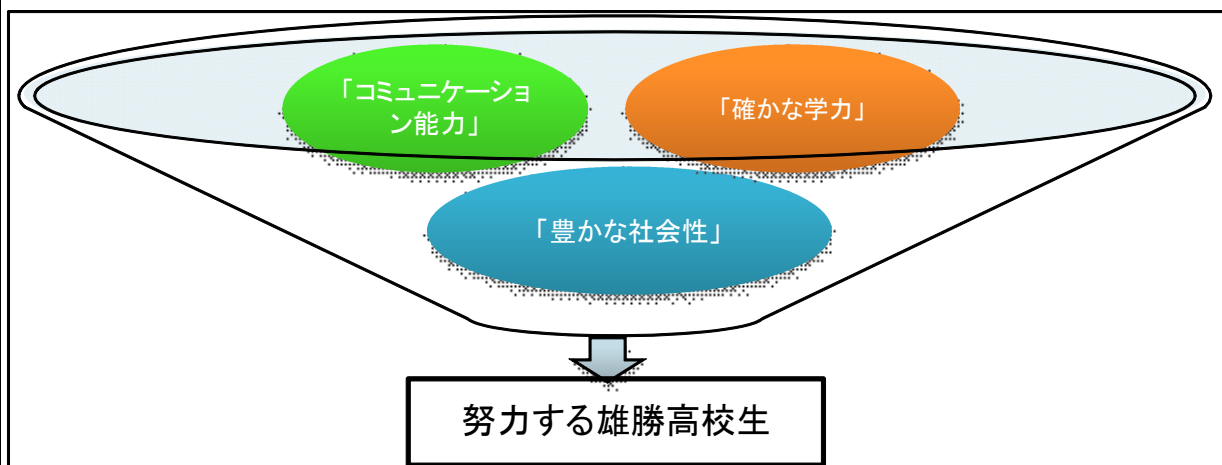
2 重点目標



3 目指す雄勝高校の生徒像

- ① 自立した社会人としての基礎学力や一般教養が身に付いている生徒
- ② 明るく元気な挨拶や周囲とコミュニケーションがとれる生徒
- ③ 自然の豊かさや伝統文化を継承し創造性豊かな感性と意志をもつ生徒
- ④ 素直で前向きな姿勢と柔軟で安定した心身のバランス感覚をもつ生徒

4 育てたい生徒の力



IV 5年間で達成を目指す具体的目標

地元企業での現場実習と伝統文化継承事業等への全員参加

地域の高齢者の自立支援や子育て支援、環境問題の解決を行政や地域住民と共に推進

特産物の開発や観光PR行事への、生徒の自発的な参加率100%

卒業時における、進路目標達成率100%

卒業時における、各種資格取得率100%

具体的な取組等

I 学校の魅力や生徒の能力を最大に引き出す柔軟で多様な学校づくり

インターンシップ等体験学習の充実

基礎学力の向上と資格取得の推進

地域団体・中学校や大学との交流

湯沢翔北高校との積極的な交流

地域の教育・文化の情報発信

地域との協働関係の構築による地域の活性化

II 特色ある学校づくりのための施設設備の充実

空き教室の多目的活用と、地域へ開放

地域交流、学習、調査、研究発表、展示等への活用

教育・文化の地域の拠点校化

キーワード

**コミュニケーションとコラボレーション
(関係性と協働性)**

* 「確かな学力」や「豊かな社会性」を、仲間や地域の方々との協働的な活動や体験を通して育む。